



探究ニュース Access No.8

発行日 令和2年11月27日

目次

- I 45期 探究基礎 ~ A 探究からB探究へ~
- Ⅱ 早期医療体験プログラムへの参加

I 45期 探究基礎 ~A探究からB探究へ~

これまで45期生は、探究活動の基礎となる「問い」の出し方や探究手法について学んできました。それらを踏まえて、個人で設定したテーマについて探究活動を進め、9月に成果発表会を行いました。



- (1) 自分の探究したいことを考える。
- ② ①についての文献リストを作り、文献を読んで知識を深める。
- ③ 夏休みに何を行うのかを考える。
- 4 先生方にアドバイスをもらう。
- ⑤ 夏休みに、外部の講演会やワークショップへ参加するなどして知見 を深める。
- ⑥ 結果及び考察を、論文形式でまとめる。





例年のように、夏休みを利用して外部の講演会やワークショップなどへ 参加することが難しい中、文献やインターネット等を利用しながらよく 探究し、まとめられていました。

A 探究 テーマ例

- 〇 生花の生命力と色彩のどちらが日本人に生花が美しいという感覚を より強くもたらすか?
- 〇 第1次から第3次産業革命に伴い、それぞれ人々の生活はどう変化 したか。また、第4次産業革命による新しい生活や仕事はどのような ものになるか?
- 御朱印はなぜここまで流行ったのか?~人々の御朱印に対する考え方の違いと御朱印の歴史から考える~
- 〇 ソードアート・オンラインなどに出てくるいわゆる「フルダイブ 技術」は、現在どれほど実現しているのか?
- 〇 日本において、紙の書籍の利用率が電子書籍を上回っている理由 とは何か?
- 〇 寝起きが良い朝を迎えるには具体的な行動として何をすればよい か?
- 〇 欧米での狼に対する駆除行動はなぜ繰り返され、狼と同程度人間と 生活圏の重なる熊にはなぜ同じようなことが行われないのか。 何が正しい理解を阻害しているのか

A探究に続いて、B探究では…

10月12日(月)からは、B探究が始まっています!A探究は個人で探究を行いましたが、B探究のテーマは「協働」です。異なる立場で活躍する人たちと、互いの立場や目的を踏まえながら協力して何かを生み出したり、課題を解決していきます。

講座一覧は裏へ!

B探究 課題解決プロジェクト講座一覧

① 生物探究プロジェクト

生物のもつ形状の意味について、調査や対話を通じて考察する。

助言者 道上達夫 東京大学大学院総合文化研究科教授・助教授・大学院生

探究手法 専門家アプローチ・観察・文献調査・実験など

② 地域活性化 マチ作りプロジェクト

ハ王子をケーススタディとしてマチの課題を発見し、その解決とともにより魅力的な街としていくための プランについて現実的・具体的なものとして提案する。

助言者 京王電鉄沿線価値創造部・八王子市役所

探究手法 専門家アプローチ・統計・文献調査・アンケート・インタビュー調査など

③ 内視鏡によるがんの早期発見・早期治療プロジェクト

がんの早期発見・早期治療における主要手段のひとつである内視鏡を通して、がんで亡くなる人をひとりでも減らすための課題解決について検討する。

助言者 オリンパス(株)

探究手法 専門家アプローチ・統計・文献調査・アンケート・博物館(企業内博物館での調査)など

④ オープンデータ活用プロジェクト

自由に使えて再利用もでき、かつ誰でも再配布できるようなデータであるオープンデータを活用した 新しいサービスを検討する。

助言者 高間康史研究室 東京都立大学 情報科学科教授

探究手法 専門家アプローチ・統計・文献調査・フィールドワークなど

⑤ 超高齢社会と医療デザインプロジェクト

医療介護施設と受益者の双方に利益をもたらす制度やサービスの在り方と高齢者の自立を促すサービスの 在り方について考察し、そのプランを「ソーシャルデザイン」として提案する。

助言者 北原国際病院

探究手法 専門家アプローチ・統計・文献調査・フィールドワーク・アンケート・インタビュー調査など

⑥ 政治とメディアとデモクラシープロジェクト

大学のゼミと同じ文献講読とディスカッションを通じて「政治学」「メディア」「情報」「選択」について考える。

助言者 牧原出 東京大学先端科学研究センター 教授

探究手法 専門家アプローチ・文献講読・統計・アンケート・インタビュー調査など

⑦ 芸術と人間心理プロジェクト

文献講読を通じて、「身の回りに潜んでいるものの意味」を心理学的に問い直す。

助言者 佐藤由紀 玉川大学 教授

探究手法 専門家アプローチ・文献講読・文献調査・インタビュー調査・実験など

⑧ 英字新聞プロジェクト

生徒自らが取材対象の選定、取材活動、報道記事としての表現といったジャーナリズムの考え方を学ぶと ともに、英語による表現の力を向上させる活動を行う。

助言者 英字新聞ジャパンタイムズ

探究手法 専門家アプローチ・インタビュー調査・フィールドワークなど

⑨ 超小型衛星プロジェクト

超小型の人工衛星を活用して、現在存在する社会問題を解決するためにどのようなことができるのかについて探究していく。

助言者 株式会社インフォステラ

探究手法 専門家アプローチ・統計・文献調査・インタビュー調査など

Ⅱ 早期医療体験プログラムへの参加

読売新聞が主催する早期医療体験プログラム「Withコロナ 未来の医療を創る君へ」に、9月26日(土)から3週間にわたって参加しました。計5大学(大阪大学、東京医科歯科大学、長崎大学、順天堂大学、東北大学)の医学部教授などから、高度先進医療や医療現場の現状などについてZoomでお話をいただきました。

本プログラムについて、11月17日(火)の読売新聞朝刊で特集されることに加え、後日読売新聞教育ネットワークWEBサイトでも紹介されるそうです。ぜひ、ご覧ください!

参加者の感想

- 新型コロナウイルスの流行が始まったばかりのときは、病院でさえもほとんど情報が ない中で、医療従事者の方々は不安な気持ちを抱えながら支援に向かっていたことに 驚いた。
- 自分の科だけではなく他の科の医師や看護師などとも協力して治療にあたる「チーム 医療」の姿が印象に残った。
- 今後もこのようなセミナーに参加して、医療の基礎知識等を身に付けたい。